

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療施設の施設整備の支援		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:田中 剛	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	へき地保健医療対策事業実施要綱等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	へき地医療施設、救急医療施設、周産期医療施設等の施設を整備し、医療提供体制と地域保健及び健康増進体制の連携強化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	下記の事業等について病院等の建物の整備を行う場合の経費の補助を行う。 ・へき地関係:へき地医療拠点病院、へき地診療所、過疎地域特定診療所、へき地保健指導所、離島等患者宿泊施設 ・臨床研修関係:研修医のための研修施設、臨床研修病院、研修医環境整備 ・産科:産科医療機関施設整備 ・医療計画等の推進に関する事業 ・施設環境等の改善に関する事業 ・医療従事者の養成力の発揮に関する事業 ・ヘリポート周辺施設整備・ランデブーポイント整備・ヘリポート施設整備に関する事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	9,325	5,380	4,278	4,400	9723
		補正予算	▲ 766		51		
		繰越し等	395	638	209	270	
	計	8,954	6,018	4,538	4,670	9723	
	執行額	7,767	5,354	3,842			
執行率 (%)	86.7%	89.0%	84.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	へき地診療所・へき地医療拠点病院数		成果実績	1279	1304	1334	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助件数		活動実績 (当初見込み)	193	131	144	-
				()	()	()	()
単位当たりコスト	26.7百万円/件		算出根拠	執行額 / 補助件数			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	医療施設等施設整備費補助金	366	347	「新しい日本のための優先課題推進枠」5,671,611千円 「新しい日本のための優先課題推進枠」において、ヘリポート周辺施設整備・ランデブーポイント整備・ヘリポート施設整備事業を新規要求している。 また、既存経費については、より必要な事業に重点配分するなど行うことにより、補助目的を達成する範囲で縮減。			
	医療提供体制施設整備交付金	4,034	3,704				
	ヘリポート周辺施設整備・ランデブーポイント整備・ヘリポート施設整備事業(推進枠) (医療施設等施設整備費補助金)	0	5,672				
計	4,400	9,722.617					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療施設関係では多くの課題が山積しており、ニーズは大きい。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	都道府県・地域間の医療格差は正の観点から、引き続き国の施策として進めていくべきものである。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	医療施設関係では多くの課題が山積しており、優先度も高い。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者も応分の負担があり負担関係は妥当。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	資金の流れの中間段階は都道府県への間接補助であるため、不合理なものではない。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	補助対象が医療施設等の施設整備費であるため、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	施設整備事業であるため、予期せぬ計画の変更等により、執行額と実施計画及び交付決定額との乖離が生じるため。		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	代替手段がない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された設備は十分に活用されている。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
点 検 結 果	未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題であるため、引き続き、国の施策として進めていく必要がある。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	医療施設の施設整備の支援については、へき地医療施設、救急医療施設、周産期医療施設等の施設を整備し、医療提供体制と地域保健及び健康増進体制の連携強化を図るための事業であり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	—					
備考						
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号: B5-2 社会保障: 医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ): 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	53	平成23年	0045	平成24年	042

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
3,842百万円

※補助率 1/3、1/2

【補助】

A. 都道府県(41)
3,842百万円

事業内容
・へき地医療拠点病院等の施設
整備 に対する補助

【補助】

B. 医療機関(10)
549百万円(東京都)

事業内容
・医療施設近代化施設整備事業に対する
施設整備費補助

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	医療機関に対する施設整備に係る補助	549			
計		549	計		0
B.医療法人社団永生会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
建設費	建物工事費	177			
計		177	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	医療機関に対する施設整備に係る補助	549		
2	宮城県	医療機関に対する施設整備に係る補助	346		
3	岡山県	医療機関に対する施設整備に係る補助	330		
4	埼玉県	医療機関に対する施設整備に係る補助	267		
5	北海道	医療機関に対する施設整備に係る補助	234		
6	高知県	医療機関に対する施設整備に係る補助	209		
7	広島県	医療機関に対する施設整備に係る補助	178		
8	大阪府	医療機関に対する施設整備に係る補助	178		
9	静岡県	医療機関に対する施設整備に係る補助	178		
10	愛知県	医療機関に対する施設整備に係る補助	149		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	医療法人社団永生会	医療施設近代化施設整備事業	177		
2	学校法人杏林学園	周産期医療施設施設整備事業等	165		
3	医療法人財団青溪会	医療施設近代化施設整備事業	115		
4	学校法人東京医科大学	研修医のための研修施設整備事業	78		
5	医療法人財団荻窪病院	臨床研修病院施設整備事業	10		
6	新島村	へき地診療所施設整備事業	5		
7	学校法人東邦大学	地域災害拠点病院施設整備事業	5		
8	社会福祉法人慈生会	病院内保育所施設整備事業	5		